

令和 6 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人 亀望会

はじめに

国は人生100年時代に備えた『全世代型社会保障改革』を進め、「2040年を展望し、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現を目指す」ことを目標として、「現役世代の人口急減という新たな局面に対応した政策課題」に取り組むため、①多様な就労・社会参加 ②健康寿命の延伸 ③医療・福祉サービス改革などが提起され、更なる「地域包括ケアシステムの推進」の具体的な達成目標も示されました。

そのようななか、令和6年度も着実に社会医療法人きつこう会との連携を深め、ヘルスケアシステムの構築に積極的に取り組むことができました。

一方、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症2類から5類への変更に伴い、制限されていた家族の施設内面会をはじめ、施設内行事、様々な地域活動についても、ほぼ以前と同様に再開することができ、また、経営的にも以前同様水準のレベルに持ち直すことができました。

このようななか、各施設・事業所においては自然災害と感染症のBCP（業務継続計画）訓練の実施、特養における見守りセンサー導入や介護機器の活用、エレベータなど設備更新、『働きやすい職場づくり』に対応した「2024年ユースエール認定企業」への登録、介護業務や相談業務の専門性を重視した人財育成システムの再構築、処遇改善金に係る賃金制度見直し対応など、それぞれほぼ計画どおり実行できました。

このように、令和6年度は、3年後のビジョン『利用者、家族、地域住民や職員から「愛」される法人・施設となるよう取り組み、地域包括ケアの推進に貢献する。』の2年目として5つの視点（地域貢献・顧客・財務・業務プロセス・人財育成）で順調に取り組むことができました。

令和6年度の各視点における、取り組み状況などは以下のとおりです。

（1）地域貢献の視点

地域住民の介護予防、認知症予防や交流の場として百歳体操や地域喫茶、健康麻雀を開催しました。また、子ども食堂（こすもすまいる食堂）もランチ営業をとりいれるなど創意工夫を行いながら実施することができました。その他、地域清掃や福祉教育活動など法人が行った様々な地域貢献活動はInstagramや社内報等で法人内外に周知する事で職員の意識の向上を図りました。

（2）顧客の視点

科学的介護情報システム（L I F E）への情報提供を行う中で、根拠のある介護を考える機会を持ちました。フィードバックを活かした取り組みは進められておらず、現在模索中です。特養では見守り機器の導入より、根拠のある事故予防策が増えました。

接遇チェックシートを作成し、自己評価・自部署評価を基に各部署で目標を立てて取り組むことで、同じ目線で丁寧な接遇を意識出来るようになりました。

（3）財務の視点

物価高騰による経費増加対策として、購入物品及び既存契約の見直しを行いました。また、修繕及び資金計画については、長期修繕計画をもとに、令和7年度以降の計画の見直しを行いました。地域のみなさまに選ばれる法人となるための取り組みとして、イメージキャラクターを活用し、Instagramや広報誌を定期的に発信しました。

(4) 業務プロセスの視点

働きやすい職場づくりを推進するため、常勤職員の有給休暇の年間付与日数に対する取得率が平均70%以上又は年間取得数が平均10日以上を目標に、業務改善や有給休暇の取得状況の確認を継続的に実施しました。その結果、目標を達成し、「2024年ユースエール認定企業」に登録されました。また、3S活動を継続的に実施し成果を共有しました。

IT委員会を中心に、施設内研修ではeラーニングを本格的に導入することができました。また、特養では見守り機器の更なる有効活用を目指し、活用状況の分析や運用ルールの見直しを進めることができました。

社会医療法人きつこう会と合同で進めている業務改善やサービスの質の向上を目的とした取り組み（アクションプラン）を継続的に進め、令和6年5月に発表会を開催することができました。次回は、令和8年5月に発表会開催を予定しています。

(5) 人財育成の視点

介護職員人財確保計画に基づき採用活動を積極的にすすめ、介護職員については介護専門学校卒1名・福祉系大学卒1名の計2名の新卒者を採用することができ、また、インドネシアからの特定技能実習生1名も採用することが出来ました。

一方、多様な働き方に関しては、アシスタントワーカーの追加採用、タイミーなどによる短時間労働者の確保や法人内職員のアルバイト対応の開始など、具体的な対応に繋げることができました。

個別研修計画は、常勤職員・準職員全てが立案・実施・評価でき、職員の意見を踏まえ、様式変更の上、令和7年度へ繋げることができました。

また、施設内研修や外部研修については、オンライン等を活用して、できるだけ多く職員が参加できるよう取り組みました。

令和4年度から続く賃金制度見直しについては、人財育成システムの再構築を目標に、令和6年度介護報酬改正なども踏まえ、①年齢給増②処遇改善手当新設③介護職員ケアプロ制度と相談員ケアプロ制度導入④課長以上役職者の年俸制導入を実施しました。

また、これらを踏まえ、令和7年度の賃金改善対応に繋げることができ、一連の賃金制度見直しにめどをつけることができました。

(6) 事故報告等の分析

令和5年度と比べて事故報告の総数が574件から450件と減少しました。転倒事故・異食事故は、繰り返す方の人数が減少しました。減少の主な理由は対象者のADLの低下や入所者の入れ替わりによるものです。見守りセンサー導入により、動きの早期発見や個人の動きに合わせた環境作りを行い、転倒を防げているケースもありますが、ベットサイドでの事故件数が減ったわけでは無いため関係性の立証には至りませんでした。

ここ数年、ヒヤリハット報告の件数増加に力を入れており、報告数745件と前年度に増加した件数を維持できました。チームの会議でヒヤリハット報告の確認を行うようになり、危険性の共有とその後の援助に活かす流れが出来ました。

重大事故（大阪市報告）も、14件から6件に減少しました。

1 特別養護老人ホーム事業

令和6年5月から新型コロナウイルス発生前のように、ご家族にフロアに上がってもらい飲食も可能とした面会に戻すことができました。途中、世間で感染症が拡大した時期や施設内で感染症が発生した時には、一時的に1階のみでの面会としたり、時間を制限するなど、感染症が拡大しないように工夫をしながら、ご家族との交流の機会を確保できるように努めました。令和6年3月から導入した見守り機器の有効活用を考えて、職員の負担軽減と根拠のある事故予防に取り組みました。

(1) 地域貢献の視点

介護職員が参加しやすい時間に地域清掃を実施することで、地域貢献活動への参加の機会は増えましたが、一部の職員しか参加出来ませんでした。

(2) 顧客の視点

制限のないフロア面会を可能にしたことで来苑者が増加し、外出・外泊を可能にしたり、ご家族にも参加して頂ける行事の実施を行い、半数以上のご家族参加があり喜びの声をいただきました。介護職員が家族と直接関わることが久しぶりとなったため、新しく作成した接遇チェックシートを活用しながら、接遇マナーの向上に努めました。外国人職員が多いことからご家族の想いを理解しきれないこともありましたが、全部署の職員がフォローし合いながらご家族の安心感に繋げました。

L I F Eへの情報提供を行う中で、評価基準を学び、同じ目線で利用者の状態評価が出来るようになってきました。フィードバックを活かした取り組みは模索中です。

見守りセンサー映像を分析することで、個別の状態に合わせたより具体的な予防策を考えられるようになりました。食事に関しては、管理栄養士による状況確認の機会を増やし、個別状況の把握に努めました。

認知症リーダー研修の受講が終了し、B P S D軽減のための取り組み体制が整い、令和7年度から加算取得が出来るようになりました。

(3) 財務の視点

特養全部署との入所申込み者の早めの情報共有を行うことで、入所準備が素早く行えるように取り組み、上半期はスムーズな入所に繋がりましたが、1月から退所者が急増し、入所準備が間に合わなくなりました。又、夏以降に長期間の入院や入院からそのまま転院となる方が増えてしまい、目標としていた稼働率97.5%（年間延べ利用者数37,011名）に対し、結果、稼働率95.8%（年間延べ利用者数36,381名）と目標を達成することができませんでした。

令和5年度に選定した排泄物品を全フロアで使用し、排泄に係るコストの削減を意識して定期的な見直しを行いました。

(4) 業務プロセスの視点

見守りセンサーを活用することで、夜勤職員の負担軽減には繋がりましたが、機器が検知できない状況があったり、不具合発生時の特殊な対応もあるため、今後も機器の理解を深めていきます。また、妊娠しても働きやすい職場をめざし、業務改善や人員確保に取り組みましたが、体制が整わず、一部の職員に身体的負担が集中しまい、特に入浴時の腰痛が課題となりました。

(5) 人材育成の視点

個別研修計画は十分に進められませんでした。が、担当委員会に合わせた研修参加を行い、委員会の取り組みに活かしました。

(6) 事故報告

事故報告は386件。前年度よりも大きく減少しています。重大事故は6件でした。

2 居宅サービス事業

地域包括ケアシステムの一端を担う事業所として、地域に根ざした信頼される事業所を目指し、地域貢献、顧客、財務、業務プロセス、人財育成の5つの視点で事業に取り組み、多くの事業で目標を達成することができました。

(1) 地域貢献の視点

ご本人、ご家族の状況・状態に応じ、各種サービスをご利用いただくことで、ご本人の自立支援、ご家族の介護負担軽減を支援することができました。また、地域への出前講座も積極的に行い、介護保険サービスや事業所の役割などについての周知活動を実施するとともに、相談窓口としての認知度を高める取り組みを行うことができました。

(2) 顧客の視点

科学的介護情報システム（LIFE）への情報提供を行い、根拠のある介護を考える機会を持ちました。一方でフィードバックデータの活用には至っていないことが今後の課題となっています。また、実施した満足度調査においては、どの事業においてもおおむね満足以上の評価を得ることができ、残った課題についても改善策を考え、より良いサービス提供となるよう取り組みました。

(3) 財務の視点

定期的実施される各サービス連絡会への参加や毎月の実績報告時に他事業所と十分なコミュニケーションを図ることで良好な関係を構築し、サービス利用者数の増加につなげることができました。また、コスト削減においては、節電やペーパーレス化等を継続し、計画的に進めることができました。

(4) 業務プロセスの視点

有給休暇の年間取得率平均70%以上を実践し、働きやすい職場環境となるよう努めました。また人員不足が続く中においても、複数の求人媒体を活用しながら、人員が不足している時間帯にスポット的に人材を確保するなど、効率的な運営を実施しました。

(5) 人財育成の視点

職員の個別研修計画を推進するとともに、外部研修も活用しながら個々の能力に応じたスキルアップを実施しました。また、人材マネジメント推進委員室のもと、相談員ケアプロ制度を推進し、相談職種としての視点を強化することができました。

(6) 事故報告

事故報告は通所介護28件（前年20件）、認知症対応型通所介護11件（前年同様）。重大事故はありませんでした。

短期入所生活介護（ショートステイ）

退所した居室の消毒と清掃は引き続き行いながら、退所した居室を午後から使用するなど、柔軟な受け入れ方を増やし、目標としていた年間延べ利用者数5,329名に対し、5,500名、1日稼働率平均14.6名に対し平均15.1名と目標を達成することができました。

年間で42名の方と新規の契約を結ぶことができ、うち西区の方は27名・港区7名・福島区2名と近隣の方を新規の利用につなげることができました。

大阪市認知症高齢者緊急ショートステイ事業（居室確保業務）では、年間9名（延べ利用日数123日）の受入れを行いました。

通所介護（高齢者デイサービス）

レクリエーションや季節行事などの継続に加え、新たに機能訓練指導員を配置し、個別機能訓練を強化することで利用者の重度化予防と満足度の改善に取り組む事で、昨年度から利用者数も大幅に回復し、目標としていた年間延利用者数7,747名を上回る8,606名、1日平均利用数25.0名に対し27.8名と目標を達成することができました。

認知症対応型通所介護（コスモスのかぜ九条南）

家事活動を中心とした生活リハビリを積極的に行い、日常生活継続支援に取り組むことで利用回数の増加に繋がり、目標としていた延べ利用者数2,000名に対し2,013名、1日平均利用数7.8名に対し7.8名と目標を達成することができましたが、利用者の実人数の増加には至りませんでした。

在宅介護支援センター（居宅介護支援事業所含）

花乃井ブランチは西区地域包括支援センター総合相談窓口として専属の相談員を配置することで、大阪市の設定する目標相談件数600件を上回る1,097件の相談に対応することができました。居宅介護支援事業については特定事業所加算Ⅱの算定は維持でき、また、昨年と比べ新規依頼は大幅に増加したものの、終了ケースも昨年以上となり、目標ケアプラン数1,588件に対し1,496件と目標達成には至りませんでした。地域活動については計画通り進めることができました。

地域包括支援センター（中央区北部）

総合相談延件数8,509件、相談実人数721人と安定した相談対応が行え、包括的継続的ケアマネジメント業務の柱ともいえる介護支援専門員からの相談件数も1,953件と増加傾向にあり、地域の総合相談窓口としての役割を果たすことができました。

オンラインも併用しながら地域ケア会議（個別・振り返り・まとめ・自立支援型含む）を24回開催、サービス利用調整会議には22回参加し、行政や地域の関連機関と連携することにより問題解決を図りました。また、中央区における多職種連携の会議や研修、様々な連絡会及び介護家族の会などの事務局として、引き続き地域のネットワーク作りに貢献するとともに、地域福祉コーディネーターや民生委員との連携強化を図りました。

指定介護予防支援事業者としては、月平均401件（一部委託含む）のケアプランに携りました。

認知症初期集中支援推進事業（中央区北部）

認知症の疑いがある方々のファーストタッチを集中的に行う事業とし、対象者23名に対して支援を行いました。認知症に関わる相談件数は2,332件となり、継続した事業の周知により認知度も徐々に高まっています。医師を交えたチーム員会議を12回、処遇困難ケースに対して開催される地域ケア会議（個別・振り返り・まとめ含む）を15回、事例検討会を2回開催しました。また、区内17地域での周知、啓発活動を実施により、専門職としての助言、後方支援しながら、新しい認知症観の普及、各関係機関との連携、活動基盤の強化に取り組みました。

3 診療所事業

特養入所者、ケアハウス入所者の健康管理に努めました。インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン接種を行い、感染症予防対策に努めました。

4 ケアハウス コスモスガーデン

入所者一人ひとりができる限り長く住み慣れた施設で暮らし、自分らしい生活が継続できるよう、個別のニーズに応じたサービスの提供に努めました。要介護認定を受けている方は23名、うち介護サービス利用中の方は19名でした。

施設内行事での地域住民との交わりや地域行事への参加、法人で取り組む地域活動に参加し公益的な取り組みを行いました。

(1) 地域貢献の視点

地域住民の介護予防を目的とした取り組みはできませんでしたが、法人で取り組む地域活動のひとつである、子ども食堂を月1回開催しました。また施設周辺を中心とした美化活動も行いました。

入所の問い合わせや介護に関する相談に対して情報提供を行い、支援に努めました。入所問い合わせは年間51件、うち面談実施は34件で待機者は29名でした。

(2) 顧客の視点

できる限り長く施設生活を継続できるように、介護予防を目的とした取り組みを支援しました。介護予防活動の一環として、食堂で開催するプチガーデン体操やいきいき百歳体操（各週1回）、健康や美容に関するレクリエーション等も継続的に実施しました。

認知症に関する相談や認知症の疑いのある方に対して、個別相談や認知症の症状に応じた対応を職員間や他の専門職と情報共有しながら検討することができました。

顧客満足度調査、嗜好調査を年1回実施し、サービスの向上に努めました。また、食事提供に関するニーズを把握するため、給食委員会を実施しました。

(3) 財務の視点

入所待機者の状況調査を年2回実施し状況を把握することで、安定した運営を目指しました。令和6年4月～5月にエレベータ更新工事を実施、工事終了後の入所希望者もありスムーズな入所調整とならず年間利用は88.7%でした。

老朽化した設備を修繕計画に基づいて修繕しました。

(4) 業務プロセスの視点

業務マニュアルの見直しや担当業務のマニュアル作成に継続的に取り組み、業務の統一化や業務効率の向上を図りました。また、有給休暇の年間取得率平均70%以上を実践し、働きやすい職場環境となるよう努めました。

(5) 人財育成の視点

全ての職員が施設内外の研修に計画的に参加することで、職員のスキルアップ及びモチベーションの維持・向上を図ることができました。また、職員の自己実現や自己成長が達成できるように、職員一人ひとりに応じた個別研修計画を立案し、定期的に面談を行いながら計画を実行することができました。

(6) 事故報告

事故報告は25件。重大事故はありませんでした。

〔資料編〕

1 特別養護老人ホーム事業

①入所者利用状況 (R6. 4. 1～R7. 3. 31)

ア 平均年齢

R7. 3. 31現在

男性	16名	82.4歳	女性	83名	89.8歳	平均	88.6歳
----	-----	-------	----	-----	-------	----	-------

イ 日常生活動作調査 (対象者99名)

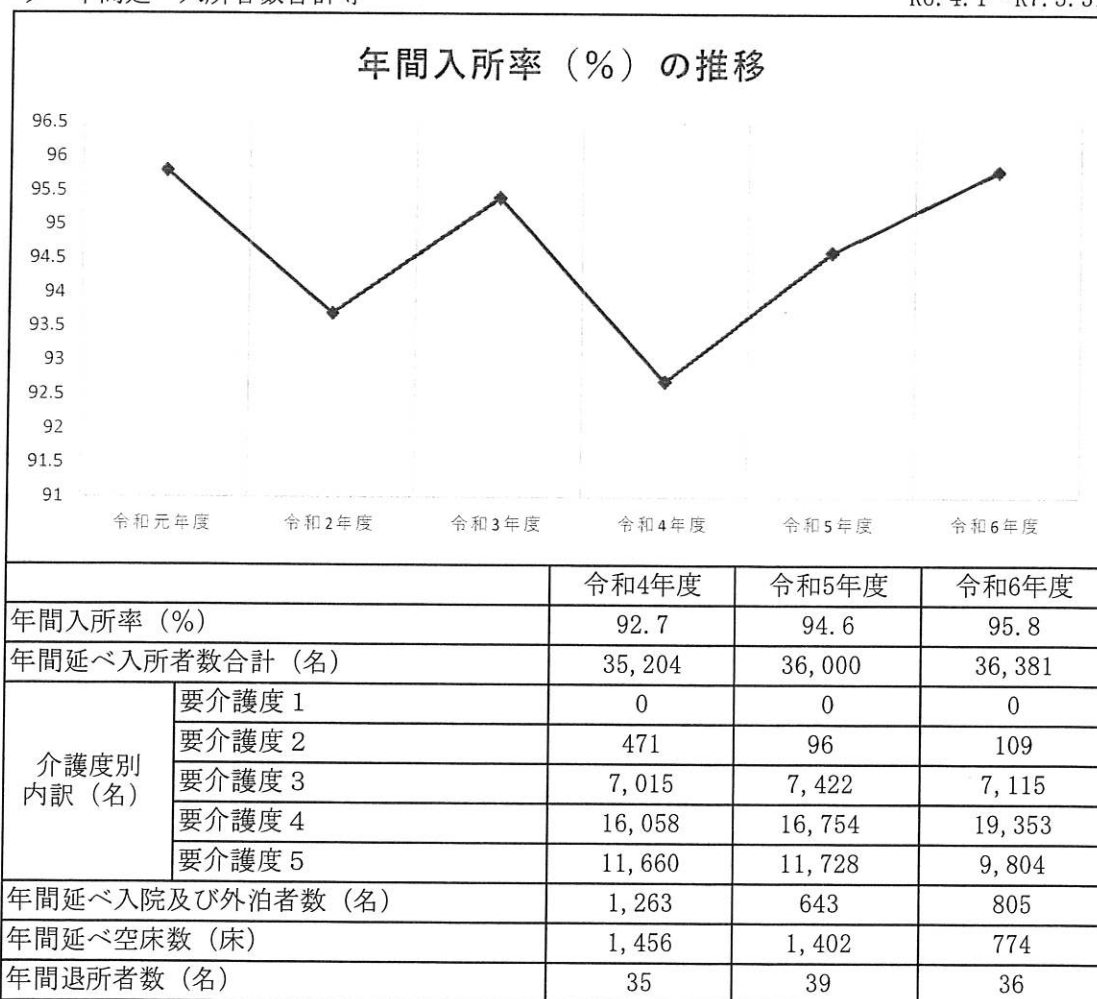
R7. 3. 31現在

区 分	移動			食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助
実数 (名)	19	33	47	57	23	19	8	32	59	0	34	65	8	36	55

区 分	整容			意思疎通			寝返り			車いす			未使用	認知症老人数
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助		
実数 (名)	17	35	47	50	34	15	60	12	27	25	17	43	14	98

ウ 年間延べ入所者数合計等

R6. 4. 1～R7. 3. 31



エ 退所者の状況

R6. 4. 1～R7. 3. 31

帰宅	他施設	病院に入院	死亡(うち看取り)	その他	合計
0	0	16	21 (12)	0	37

※重大事故 (大阪市報告) 6 件 : 骨折入院 4 件・骨折様子観察1件・臍切断様子観察1件

カ 苦情相談の状況

R6. 4. 1～R7. 3. 31

苦情相談件数	1件 (1件)	() 内前年度
--------	---------	----------

②主な行事及び活動

ア 行事

日 付	行 事 名	内 容
5月10日・17日・24日・28日	バラ園散策	韮公園に散策外出に行きました。
6月26日	鉄板まつり	1階の喫茶ルームでたこ焼きを焼き、出来立てのたこ焼きを楽しんでいただきました。
7月16日	子供みこし	地域の子ども神輿が施設の前に来て、太鼓を披露。1階やベランダから見学して元気をいただきました。
7月19日・24日 8月16日	すいか割り	夏の風物詩、「すいか割り」を、各フロアで楽しんでいただきました。
9月19日	にしながほり保育園との交流	保育園の園児の方が来苑され、入所者の皆さんと交流を持ちました。久しぶりの直接交流で、皆さんとても喜ばれていました。
9月25日	敬老祝賀会	西区長が訪問し100歳になる方のお祝いをして頂きました。午後からはアコーディオン演奏ボランティアの方が各フロアで演奏を行い、敬老のお祝いを行いました。
10月15日	韮幼稚園との交流	幼稚園の園児の方が来苑され、入所者の皆さんと交流を持ちました。
11月7日・15日・22日・28日	味覚まつり	出来立ての焼き芋を召し上がっていただきました。
11月17日	秋祭り	1階と2階で祭りをイメージしたレクを行い、ご家族と共に楽しんでいただきました。久しぶりに家族参加の行事を行う事が出来ました。
11月17日～30日	作品展	秋祭りに合わせて、1階で作品展を開催し、入所者様・ご家族様に観ていただきました。
12月9日	癒し犬	大阪ECO動物海洋専門学校から癒し犬の訪問があり、ふれあいを楽しみました。
12月3日・4日・5日・6日	にぎり寿司	1階の喫茶ルームでにぎりたてのお寿司を召し上がっていただきました。
12月23日	クリスマスレクリエーション	サンタクロースに扮した職員が、プレゼント配り、クリスマスを楽しんでいただきました。
1月16日・17日・23日・24日	鏡開き	1階の喫茶ルームでぜんざいを召し上がっていただきました。
1月30日	いちご狩レク	1階の喫茶ルームでいちご農園を再現し、いちご狩りを楽しんでいただきました。
2月3日	節分	昔からの風習である豆まきを豆のかわりにボールを投げ、楽しく今年一年の厄払いを行いました。
12月20日・2月7日・21日・27日	鉄板焼ランチ	各フロアに鉄板を持って上がり、出来立ての料理を召し上がっていただきました。
月3回	ホーム喫茶	感染予防に努めながら、1階喫茶ルームで喫茶店を開き、入所者の方に楽しんでいただきました。

イ 面会・外出・外泊状況集計表

R6. 4. 1～R7. 3. 31

年平均面会回数

単位：名

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
48	31	15	16	10	5	10

外出回数

単位：名

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
0	0	1	3	2	13	116

外泊回数

単位：名

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
0	0	0	1	0	2	132

ウ 自衛消防訓練等実施状況

日 付	内 容	備 考
4月17日	自衛消防訓練 (昼間・4階配膳室出火想定)	消火・通報・避難・誘導訓練 (新入職員対象)
6月19日	自衛消防訓練 (昼間・3階職員室出火想定)	消火・通報・避難・誘導訓練
9月18日	地震防災訓練 (昼夜・津波想定・避難誘導訓練)	水害時の行動訓練
10月16日	自衛消防訓練 (夜間・4階汚物処理室出火想定)	消火・通報・避難・誘導訓練
1月15日	地震防災訓練 (昼間・高潮浸水・図上訓練)	巨大地震発生時の行動確認

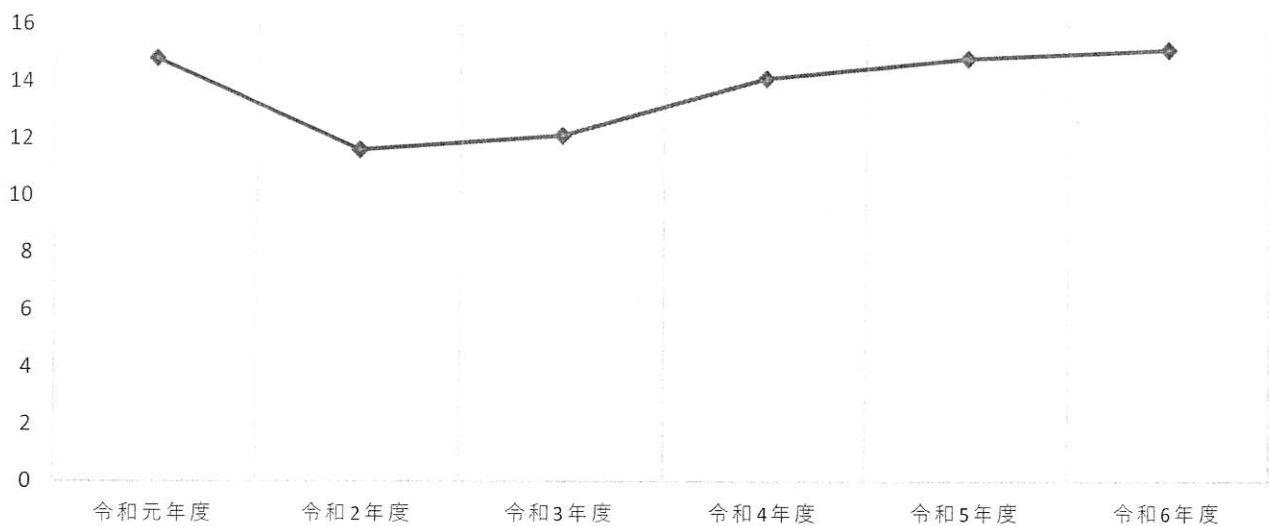
2 居宅サービス事業

(1) 短期入所生活介護（ショートステイ）

ア 年間延べ入所者数合計等

R6. 4. 1～R7. 3. 31

1 日平均入所者数（名）の推移



		令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 日平均入所者数（名）		14.1	14.8	15.1
開設日数（日）		365	366	365
実入所人数（名）		593	566	529
年間延べ入所者数合計（名）①+②		5,146	5,435	5,500
介護度別 内訳（名）	要支援 1	5	10	17
	要支援 2	4	0	8
	非該当・その他	0	0	4
	要介護度 1	410	538	700
	要介護度 2	656	739	710
	要介護度 3	2,010	2,109	1,698
	要介護度 4	1,030	940	1,008
	要介護度 5	867	956	1,186
入所者数合計（名） ①		4,982	5,292	5,331
緊急ショート空床確保数 ②		164	143	169
送迎（回）		1,976	1,897	1,744
平均介護度		3.24	3.15	3.16

イ 苦情相談の状況

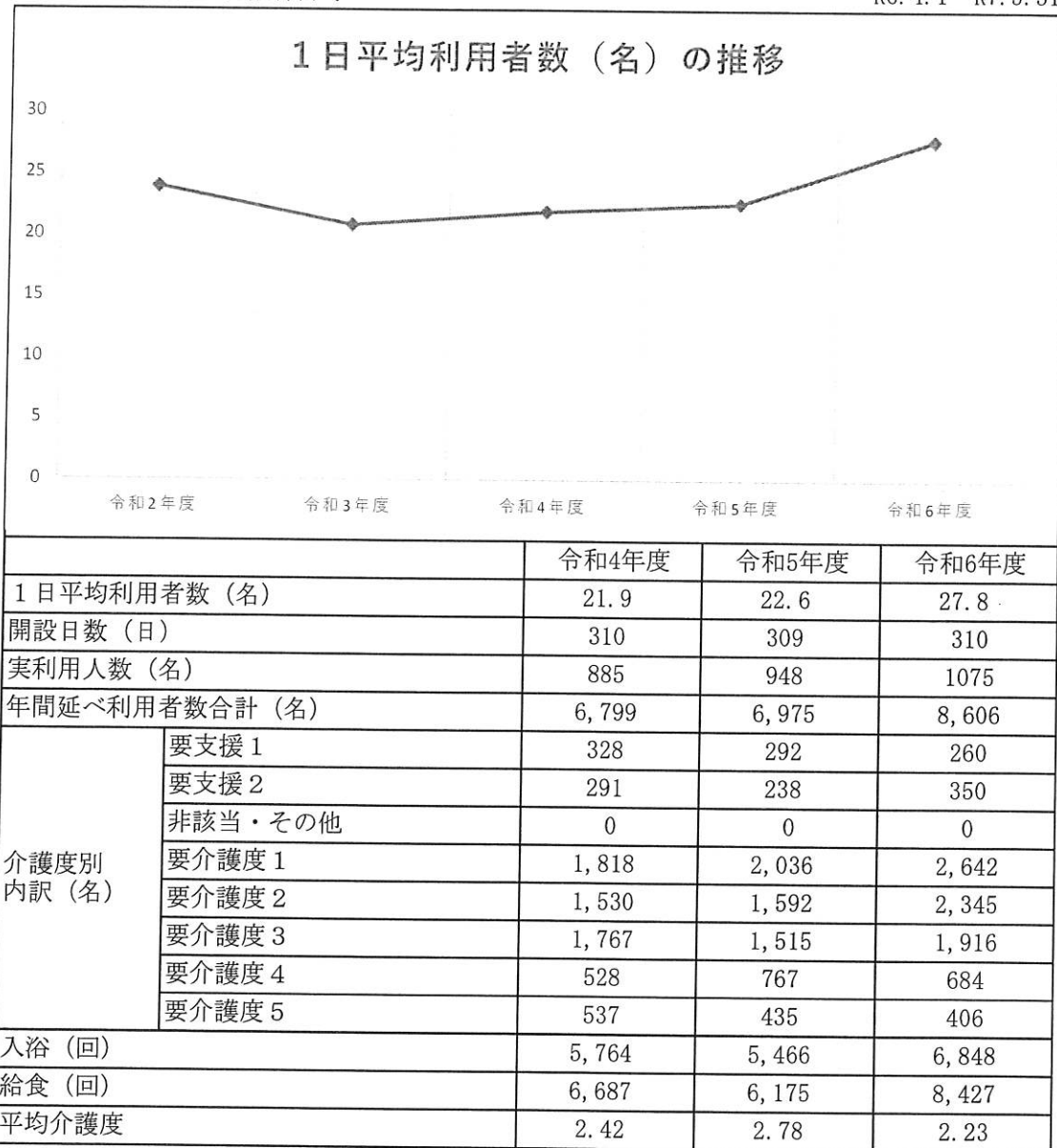
R6. 4. 1～R7. 3. 31

苦情相談件数	1件	(1件)	() 内前年度
--------	----	------	----------

(2) 通所介護（デイサービス）

ア 年間延べ利用者数合計等

R6. 4. 1～R7. 3. 31



イ 実利用者数月毎推移表

R6. 4. 1～R7. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数（名）	85	83	89	89	89	93	91	91	92	90	91	95

ウ 利用者の状況

R7. 3. 31現在

	一人暮らし 世帯	高齢者 世帯	家族と同居	その他	合計
合計（名）	34	11	43	3	91

エ 主な行事

- ・ 菖蒲湯・ゆず湯・ビンゴ大会・スイカ割り・運動会・敬老会・花見・誕生日会・盆踊り
- ・ 行事食（七夕、節分、雛祭りなど）

オ 誕生日会

- ・ 毎月開催（誕生日の方にケーキを選んでいただき、おやつ時に提供）

カ クラブ活動

- ・ 脳トレ、書道、ペン習字、モノ作り、手芸の各クラブ活動を実施

キ 苦情相談の状況

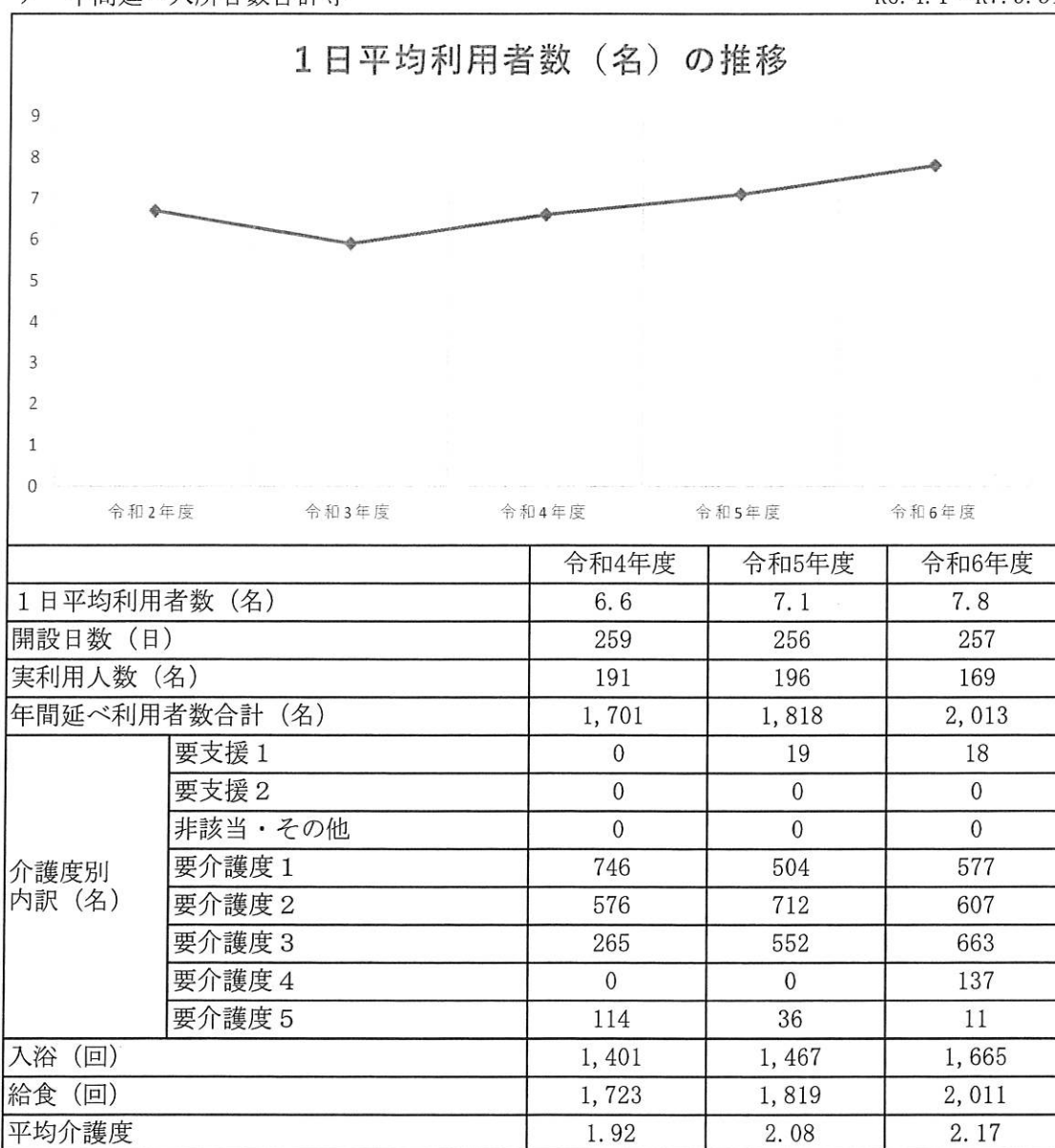
R6. 4. 1～R7. 3. 31

苦情相談件数	2件	(1件)	() 内前年度
--------	----	------	----------

(3) 認知症対応型通所介護（コスモスのかぜ九条南）

ア 年間延べ入所者数合計等

R6. 4. 1～R7. 3. 31



イ 実利用者数月毎推移意表

R6. 4. 1～R7. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数（名）	13	15	13	14	14	15	14	14	15	14	14	14

ウ 利用者の状況

R7. 3. 31現在

	一人暮らし 世帯	高齢者 世帯	家族と同居	その他	合計
合計（名）	3	2	9	0	14

エ 主な行事

- ・お花見、菖蒲湯、ゆず湯、敬老会、クリスマス会、鏡開き
- ・行事食（七夕、節分、ひな祭りなど）

オ 誕生日会

- ・毎月開催（誕生日メニューを昼食時に提供）

カ コスモスのかぜ九条南運営推進会議の状況

R6. 4. 1～R7. 3. 31

開催回数	2回（2回）	（）内前年度
------	--------	--------

キ 苦情相談の状況

R6. 4. 1～R7. 3. 31

苦情相談件数	0件（0回）	（）内前年度
--------	--------	--------

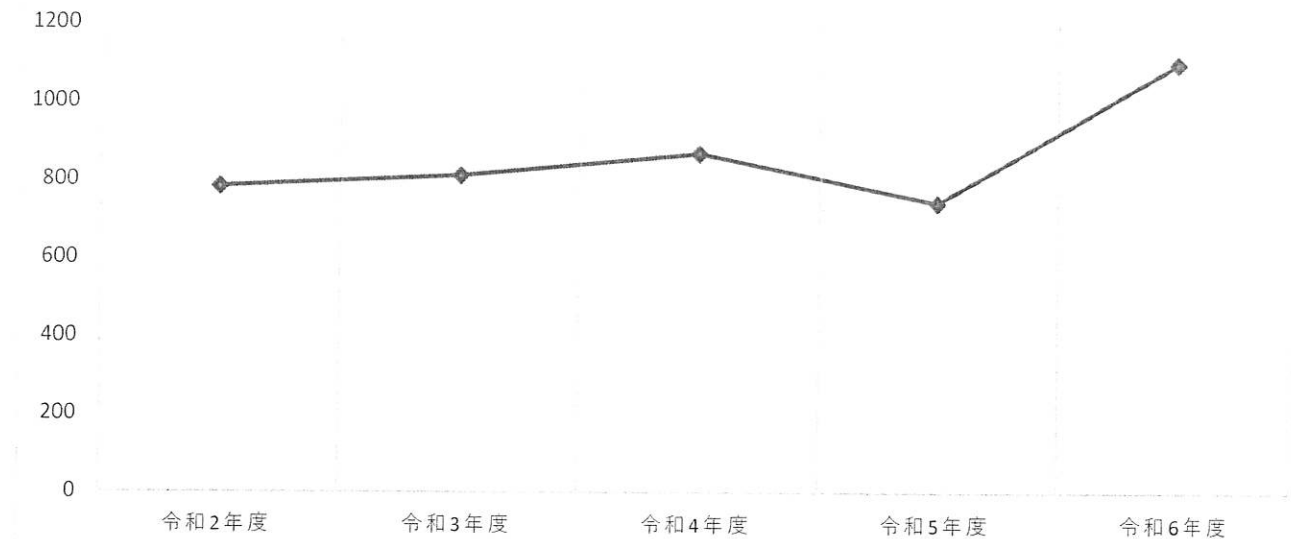
(4) 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業所含）

①在宅介護支援センター事業

ア 相談事業実施状況 () 内前年度

R6. 4. 1～R7. 3. 31

相談延べ件数（件）の推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	21	21	20	22	21	19	22	21	21	19	17	20	244 (244)
相談延件数	65	86	97	137	83	75	88	54	94	120	112	86	1097 (740)

イ 相談内容

R6. 4. 1～R7. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家族・家庭問題	1	0	3	5	1	1	0	4	6	4	2	8	35
経済・生活問題	8	4	12	12	10	2	13	11	21	24	14	12	143
介護サービス	21	51	57	48	15	25	35	17	29	36	51	35	420
介護予防サービス	4	14	7	18	15	13	16	12	15	14	26	14	168
総合事業	6	5	7	8	4	11	2	0	3	0	3	0	49
福祉サービス	0	6	0	1	2	2	3	0	0	3	0	0	17
保健医療サービス	12	3	5	27	13	5	1	2	10	18	14	9	119
虐待	0	0	2	7	6	4	3	1	0	0	0	0	23
成年後見制度	2	0	4	11	17	5	8	6	7	16	2	7	85
生きがいづくり	6	2	0	0	0	7	7	1	3	5	0	1	32
その他	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
合計（件）	65	86	97	137	83	75	88	54	94	120	112	86	1097

キ 苦情相談の状況

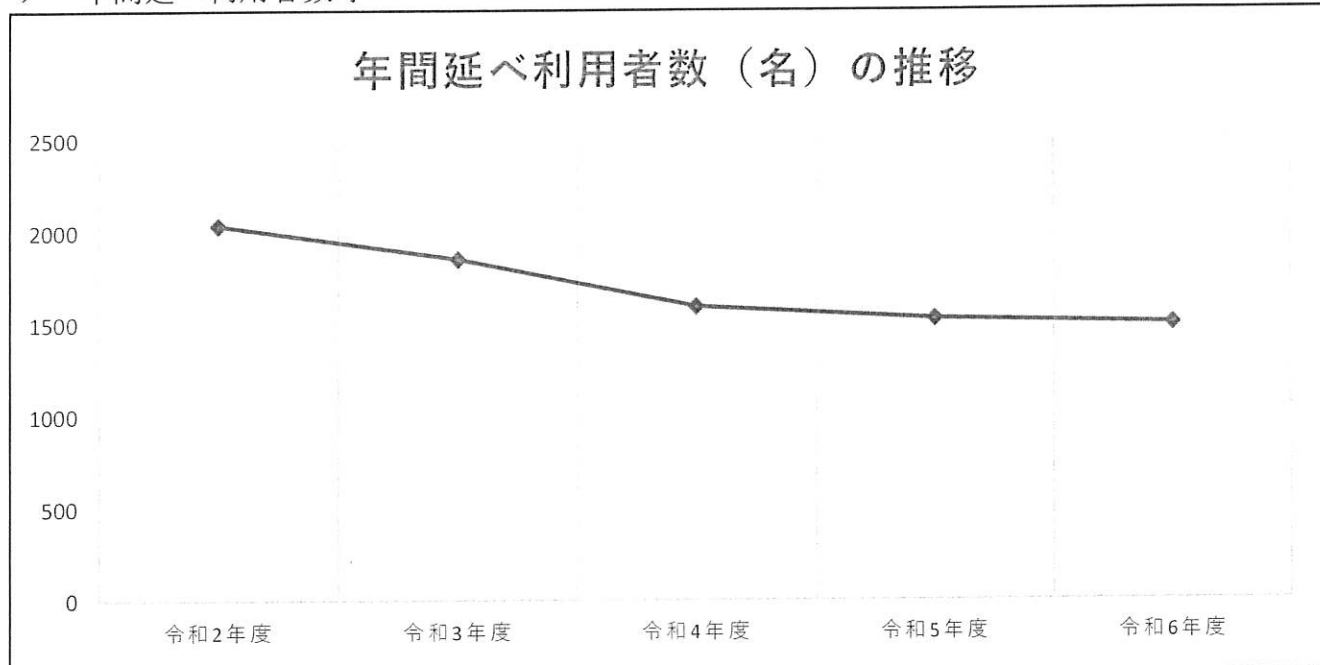
R6. 4. 1～R7. 3. 31

苦情相談件数	0件 (0件)	() 内前年度
--------	---------	----------

②居宅介護支援事業

ア 年間延べ利用者数等

R6. 4. 1～R7. 3. 31



		令和4年度	令和5年度	令和6年度
年間延べ利用者数合計（名）		1, 592	1, 527	1, 496
介護度別 内訳（名）	要支援 1	212	219	225
	要支援 2	209	227	203
	非該当・その他	0	0	0
	要介護度 1	285	297	314
	要介護度 2	360	301	342
	要介護度 3	245	268	259
	要介護度 4	197	142	124
	要介護度 5	84	73	29

キ 苦情相談の状況

R6. 4. 1～R7. 3. 31

苦情相談件数

7件

(4件)

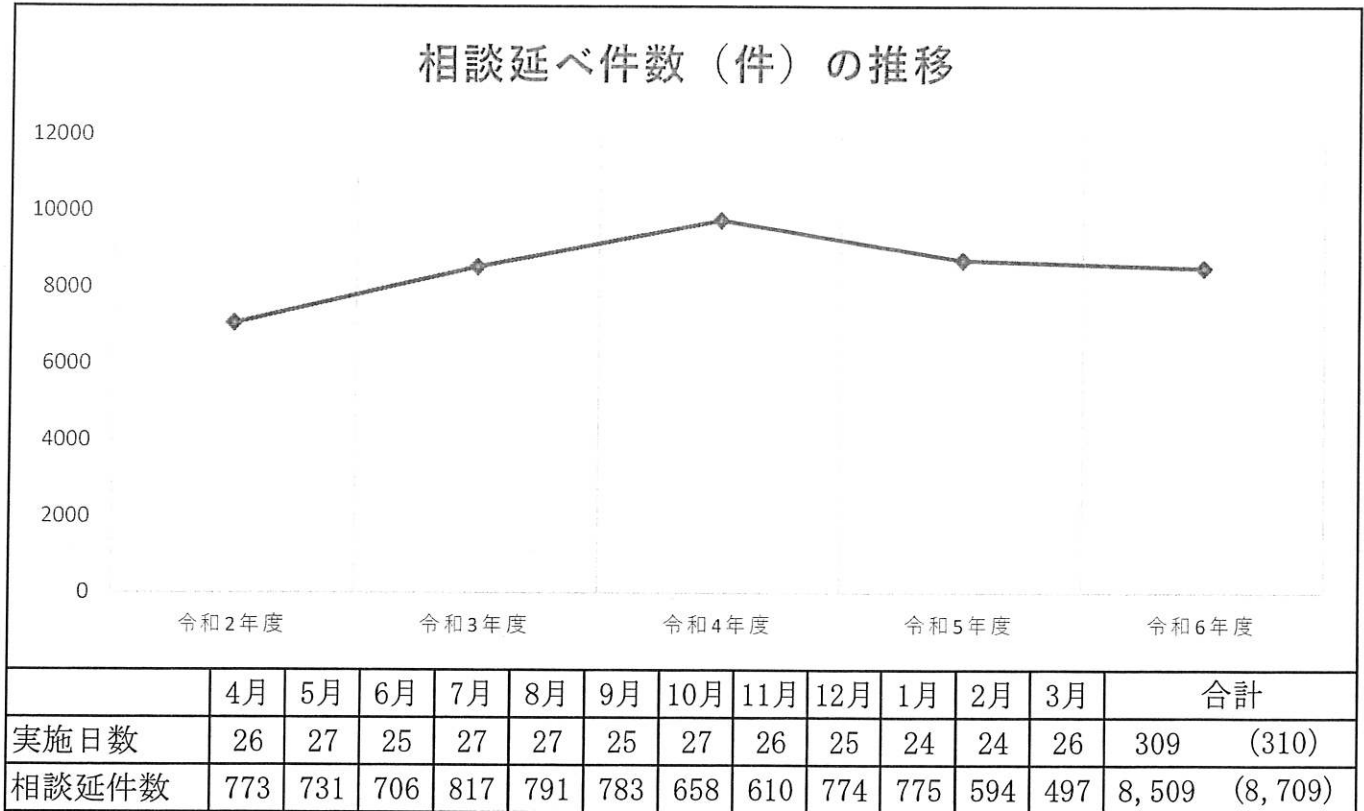
() 内前年度

(5) 地域包括支援センター（中央区北部）

①地域包括支援センター事業

ア 相談事業実施状況 () 内前年度

R6. 4. 1～R7. 3. 31



イ 相談内容 R6. 4. 1～R7. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家族・家庭問題	16	4	26	7	12	12	5	15	8	9	5	6	125
経済・生活問題	199	167	162	215	186	170	183	158	236	210	168	152	2,206
介護サービス	342	300	236	323	238	277	194	217	261	250	240	196	3,074
介護予防サービス	91	140	132	106	154	190	159	154	157	182	106	65	1,636
総合事業	0	23	22	3	20	10	0	3	6	17	8	9	121
福祉サービス	8	6	19	15	13	29	30	14	10	16	7	8	175
保健医療サービス	32	36	38	56	41	25	44	38	52	46	31	40	479
虐待	56	32	35	69	102	47	26	2	13	9	8	0	399
成年後見制度	29	20	31	16	15	12	7	9	31	32	18	19	239
生きがいづくり	0	2	5	0	8	10	8	0	0	2	2	1	38
その他	0	1	0	7	2	1	2	0	0	2	1	1	17
合計（件）	773	731	706	817	791	783	658	610	774	775	594	497	8,509

キ 苦情相談の状況 R6. 4. 1～R7. 3. 31

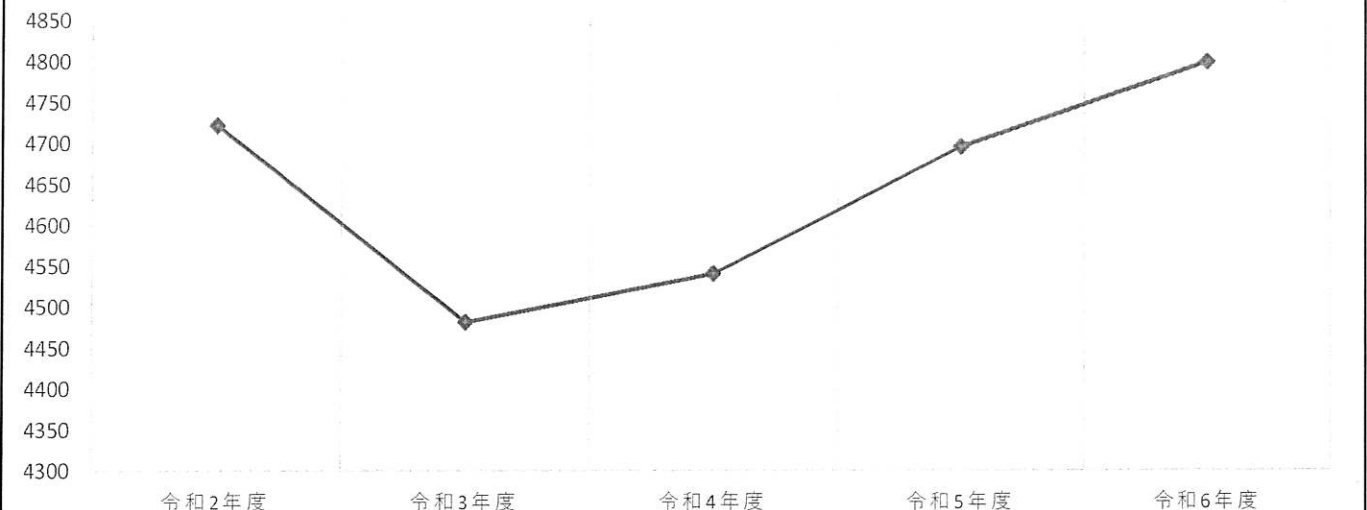
苦情相談件数	0件 (2件)	() 内前年度
--------	---------	----------

②介護予防支援事業（第1号介護予防支援事業含む）

ア 年間延べ利用者数等

R6. 4. 1～R7. 3. 31

年間延べ利用者数（名）の推移



		令和4年度	令和5年度	令和6年度
年間延べ利用者数合計（名）		4,540	4,695	4,798
介護度別 内訳（名）	要支援1（直）	80	0	0
	要支援1（委託）	1,948	2,076	2,251
	要支援1 合計	2,028	2,076	2,251
	要支援2（直）	92	0	0
	要支援2（委託）	2,420	2,619	2,547
	要支援2 合計	2,512	2,619	2,547
	事業対象者（直）	0	0	0
	事業対象者（委託）	0	0	0
	事業対象者合計	0	0	0

キ 苦情相談の状況 R6. 4. 1～R7. 3. 31

苦情相談件数	0件	0件	() 内前年度
--------	----	----	----------

（6）認知症初期集中支援事業（中央区北部）

ア 相談事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実施日数	25	24	25	26	26	23	26	24	25	23	22	25	294	24.5
相談延人数	191	99	154	219	159	108	199	203	252	239	196	313	2332	194.3

イ 広報普及啓発活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
件数	23	17	19	15	42	15	14	23	7	9	13	16	213	17.8

ウ 若年性認知症についての相談

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
件数	1	2	0	2	1	2	3	12	7	11	10	18	69	5.8

エ 支援困難症例の主たる支援機関からの相談

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	0	0	4	0	1	2	0	2	1	0	0	1	11	0.9

オ ネットワーク構築のための会議回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	10	12	9	16	10	12	19	10	13	10	14	10	145	12.1

カ 認知症カフェの側面的支援回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	8	0.7

キ 苦情相談の状況 R6. 4. 1～R7. 3. 31

苦情相談件数	0件 (0件)	() 内前年度
--------	---------	----------

3 診療所事業

ア 診療報酬請求件数 () 内前年度 R6. 4. 1～R7. 3. 31

	入所者		職員		合計	
年間合計	1,238	(1,211)	0	(8)	1,238	(1,219)
月平均	103.2	(100.9)	0	(0.6)	103.2	(101.5)

イ 健康診断実施状況 () 内前年度 R6. 4. 1～R7. 3. 31

	入所者	
年間合計	205	(217)
月平均	17.1	(18.1)

ウ インフルエンザ予防接種実施状況 () 内前年度 R6. 4. 1～R7. 3. 31

	入所者		職員		合計	
年間合計	93	(87)	141	(128)	234	(215)

エ 肺炎球菌ワクチン接種実施状況 () 内前年度 R6. 4. 1～R7. 3. 31

	入所者		職員		合計	
年間合計	0	(0)	0	(0)	0	(0)

オ 新型コロナワクチン接種状況 () 内前年度 R6. 4. 1～R7. 3. 31

	入所者		職員		合計	
年間合計	39	(143)	0	(131)	39	(274)

4 ケアハウス事業

ア 平均年齢

R7. 3. 31現在

男性	4名	79.3歳	女性	36名	83.4歳	平均	83.0歳
----	----	-------	----	-----	-------	----	-------

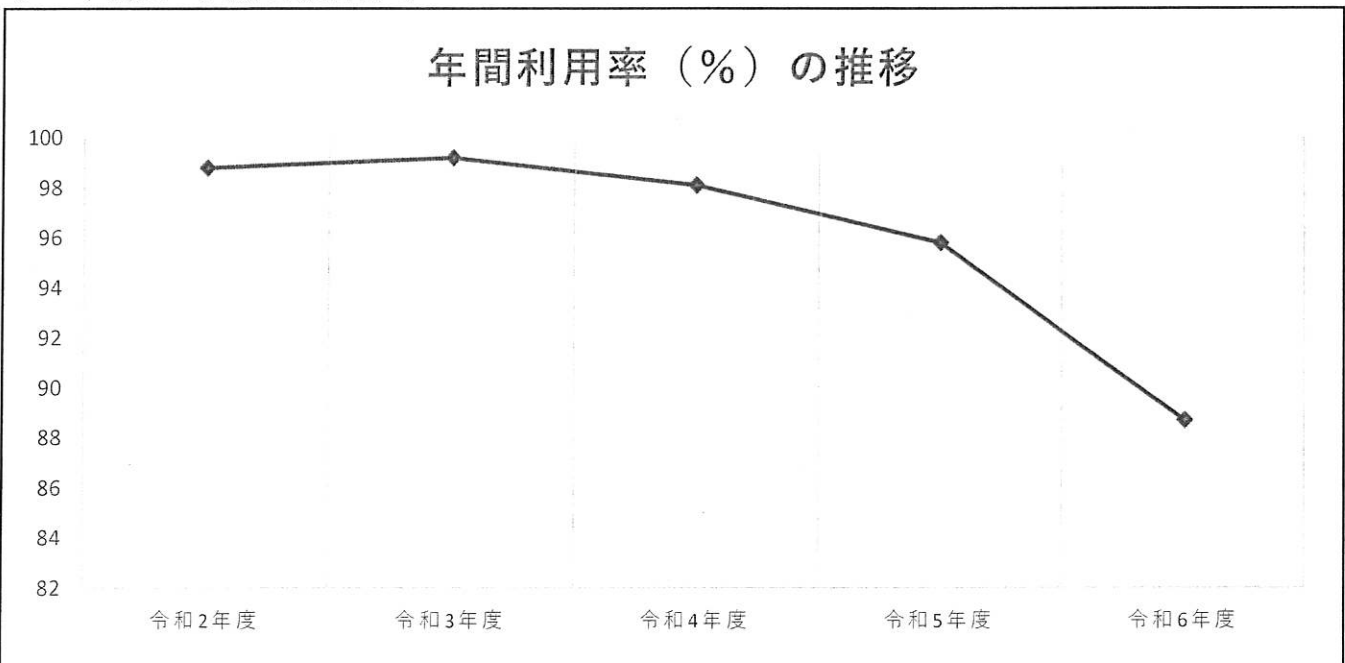
イ 日常生活動作調査（対象者39名）

R7. 3. 31現在

区 分	移動		食事			排泄			入浴		
	自立歩行	補助具	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助
実数（名）	31	9	34	6	0	40	0	0	37	3	0

ウ 年間延べ入所者数合計等

R6. 4. 1～R7. 3. 31



		令和4年度	令和5年度	令和6年度
年間利用率（％）		98.1	95.8	88.7
年間延べ利用者数合計（名）		470	452	437
介護度別 内訳（名）	未認定	156	183	194
	要支援1	34	39	42
	要支援2	116	89	57
	要介護度1	45	59	79
	要介護度2	74	52	48
	要介護度3	23	12	1
	要介護度4	22	13	16
	要介護度5	0	5	0
年間延べ入院及び外泊者数（名）		22	16	21
年間退所者数（名）		9	7	7

エ 面会・外出・外泊状況集計表

R6. 4. 1～R7. 3. 31

月平均面会回数

単位：名

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
15	4	10	4	1	2	4

外泊回数

単位：名

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
0	1	1	5	1	4	28

オ 主な行事

4月 エレベーター更新工事（～5月末まで）
 5月 端午の節句祭事食
 6月 創立記念祭 自衛消防訓練
 7月 七夕祭事食 土用丑祭事食 子供神輿
 8月 納涼祭
 9月 敬老祝賀会 地震防災訓練
 10月 おでん鍋行事食 自衛消防訓練
 11月 鍋料理
 12月 クリスマスランチ 年越しそば行事食 餅つき イルミネーションツアー
 1月 新年互礼会 おせち料理 七草粥 小豆粥
 2月 節分祭事食 鍋料理
 3月 ひな祭り祭事食

カ その他

百歳体操：週1回 プチガーデン体操：週1回 誕生日会：月1回
 セレクトメニュー昼食：月1回 こども食堂：月1回 移動図書館：月1回

カ 苦情相談の状況

R6. 4. 1～R7. 3. 31

苦情相談件数	5件	(7件)	() 内前年度
--------	----	------	----------

5 その他

(1) 研修状況

・施設内研修（基礎研修）

日付	研修名	研修内容	参加者
4月17日	利用者のプライバシー保護の取り組みに関する研修	福祉従事者として、プライバシー保護の重要性を学ぶ	施設長以下91名 (うち非常勤11名)
4月17日	ターミナルケアに関する研修	高齢者の看取りケアを学ぶ	施設長以下90名 (うち非常勤11名)
5月15日	食中毒の予防及びまん延防止の研修(eラーニング)	食中毒の原因となる細菌と予防を学ぶ	施設長以下74名 (うち非常勤9名)
5月15日	事故発生防止のための研修(eラーニング)	事故発生防止についての基礎知識を学ぶ	施設長以下77名 (うち非常勤10名)
6月19日	虐待防止のための研修	虐待防止の知識を学ぶ	施設長以下88名 (うち非常勤10名)
6月19日	身体的拘束等の排除のための取組みに関する研修Ⅰ	身体拘束等の排除のための取組みについて学ぶ	施設長以下87名 (うち非常勤10名)
7月10日	事故の発生等緊急時の対応に関する研修	事故を削減するための対応等を学ぶ	施設長以下89名 (うち非常勤10名)
8月21日	医療に関する研修 (口腔ケア)	口腔ケアに関する知識を学ぶ	施設長以下86名 (うち非常勤10名)
9月18日	グループワーク（事故発生防止）	事故発生防止についてグループワークで学ぶ	施設長以下84名 (うち非常勤10名)
10月16日	感染症の予防及びまん延防止のための研修	施設内感染症制御等を学ぶ	施設長以下79名 (うち非常勤9名)
11月20日	認知症及び認知症ケアに関する研修(eラーニング)	認知症ケアについて学ぶ	施設長以下74名 (うち非常勤10名)
11月20日	褥瘡予防のための研修(eラーニング)	褥瘡に関する知識を学ぶ	施設長以下77名 (うち非常勤10名)
12月11日	BCP『感染症』(eラーニング)	感染症の事業継続計画について学ぶ	施設長以下72名 (うち非常勤10名)
1月15日	BCP『自然災害』(eラーニング)	非常災害時の対応と備蓄食品等について学ぶ	施設長以下75名 (うち非常勤10名)
1月15日	身体的拘束等の排除のための取組みに関する研修Ⅱ(eラーニング)	身体拘束等の排除のための取組みについて振り返り	施設長以下73名 (うち非常勤10名)
2月19日	人権研修(eラーニング)	人権について学ぶ	施設長以下76名 (うち非常勤10名)
3月12日	マナー研修	接遇マナーの基本を学ぶ	施設長以下69名 (うち非常勤10名)
3月12日	虐待防止のための研修Ⅱ	虐待防止の知識を学ぶ	施設長以下71名 (うち非常勤10名)
3月12日	伝達研修（ファシリテーション）	ファシリテーションについて学ぶ	施設長以下69名 (うち非常勤10名)

・施設内研修（階層別・職種別研修）

①新任職員研修

4月2日・3日、6月13日、10月11日、12月9日 計7名受講（うち中途採用4名）

②中堅職員研修 階層別に中堅職員研修を行った。

中堅職員研修Ⅰ（入職2年目の常勤職員） 2クール2日 計9名受講

中堅職員研修Ⅱ（入職3年以上の常勤職員） 1クール1日 計3名受講

中堅職員研修Ⅲ（入職5年以上の常勤職員） 1クール1日 計4名受講

③介護職員研修

移乗介助・スライディングボードの使用方法 67名受講（うち非常勤11名）

体位交換・ポジショニングの基礎を学ぶ 63名受講（うち非常勤10名）

感染防止の具体的な対策（嘔吐物の処理） 54名受講（うち非常勤9名）

リフト操作研修 67名受講（うち非常勤11名）

④相談員研修

相談援助に関わる職員20名に対し、相談員が知っておくべき高齢者福祉の理解をテーマに年2回実施。延べ38名が受講した。

・施設外研修

施設外研修として、各種上部団体主催の研修会にできるかぎり参加し、その結果大阪市福祉局、大阪市老人福祉施設連盟など計138回の研修に参加した。

（2）ボランティア・実習生受入、体験学習状況

・ボランティア受入状況

①特別養護老人ホーム

行事やレク、業務の補助等 延べ4名 内介護予防ポイント対象者延べ0名

②通所介護（江之子島コスモス苑デイサービスセンター）

行事やレク、業務の補助等 延べ168名 内介護予防ポイント対象者延べ14名

③認知症対応型通所介護（コスモスのかぜ九条南）

行事やレク、業務の補助等 延べ39名 内介護予防ポイント対象者延べ1名

④地域貢献活動

ホーム喫茶の手伝い 延べ78名 内介護予防ポイント対象者延べ0名

子ども食堂の手伝い 延べ97名 内介護予防ポイント対象者延べ0名

・実習生受入状況

学校等の名称	実人数	延人数	内容（資格等）
関西学院大学	4	20	社会福祉士
関西福祉科学大学	1	24	社会福祉士
大阪人間科学大学	4	64	社会福祉士
東京通信大学	3	19	社会福祉士
大阪公立大学	4	12	看護師
大手前大学	6	18	看護師
近畿福祉専門学校	4	60	介護福祉士
関西社会福祉専門学校	9	150	介護福祉士
大阪総合福祉専門学校	2	2	介護福祉士
仏教大学	3	15	教職課程
10機関	40	384	

・職場体験（中学2年生）

花乃井中学校：11月7日・8日 デイサービスセンターで5名受け入れ

西中学校：9月5日・6日 デイサービスセンターで3名受け入れ

(3) 地域貢献活動など () 内は令和5年度実績

いきいき百歳体操	48回開催 延べ804名(682名)参加 毎週水曜日にLINEで動画やメッセージの配信
地域清掃	毎月2回開催 延べ132名(108名)参加
高齢者啓発活動	西区内3カ所(4カ所)の保育園及び幼稚園にて開催 (韋幼稚園・西長堀保育園・南堀江保育園でのひら)
こすもすカフェ	毎月第2火曜日開催 延べ145名(95名)参加
健康麻雀	毎月第4月曜日開催 延べ121名(32名)参加
子ども食堂	毎月第2金曜日開催 延べ489名(260名)参加
夏休みランチ	19回(16回)開催 延べ109名(57名)参加
春休みランチ	5回(5回)開催 延べ57名(35名)参加
カラオケ喫茶	5回(4回)開催 延べ28名(24名)参加

(4) 寄付金状況(令和6年度分)

①江之子島コスモス苑

日付	寄付者名	関係	金額・品名	備考
11月29日	住友生命保険相互会社様	法人	39,000	法人運営費に充当
3月8日	上田 勢津子様	地域	車イス	特養で使用
3月28日	森 イクコ様	利用者家族	200,000	法人運営費に充当

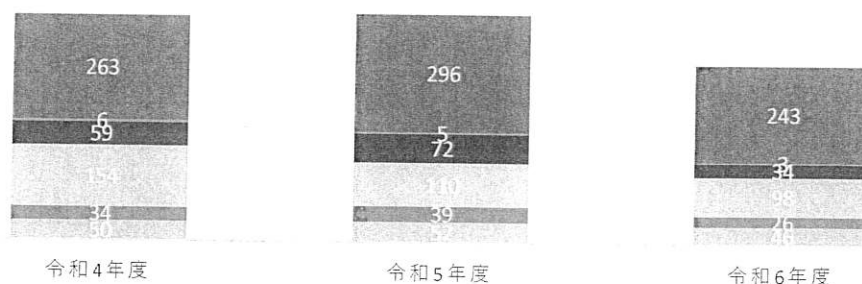
②コスモスガーデン

日付	寄付者名	関係	金額・品名	備考
3月31日	和田 恵津子様	入居者	17,250,602	入浴設備更新工事に使用予定

(5) 事故状況の報告

事故報告件数（件）の推移

- 転倒・転落
- 誤嚥
- 異食
- 皮膚剥離・内出血
- 服薬ミス
- その他



	令和4年度	令和5年度	令和6年度
転倒・転落	263	296	243
特別養護老人ホーム（短期入所含む）	192	266	214
通所介護	7	4	5
ケアハウス	61	22	20
認知症対応型通所介護	3	4	4
誤嚥	6	5	3
特別養護老人ホーム（短期入所含む）	6	1	3
通所介護	0	1	0
ケアハウス	0	0	0
認知症対応型通所介護	0	3	0
異食（他人の物を食べてしまう場合を含）	59	72	34
特別養護老人ホーム（短期入所含む）	58	69	28
通所介護	1	1	6
ケアハウス	0	0	0
認知症対応型通所介護	0	2	0
皮膚剥離・内出血	154	110	98
特別養護老人ホーム（短期入所含む）	149	109	96
通所介護	5	1	1
ケアハウス	0	0	0
認知症対応型通所介護	0	0	1
服薬ミス	34	39	26
特別養護老人ホーム（短期入所含む）	30	37	22
通所介護	1	2	4
ケアハウス	0	0	0
認知症対応型通所介護	3	0	0
その他	50	52	46
特別養護老人ホーム（短期入所含む）	29	33	23
通所介護	15	6	12
ケアハウス	2	2	5
認知症対応型通所介護	4	19	6
合計	566	574	450

※重大事故（大阪市報告）6件：骨折入院4件・骨折様子観察1件・腱切断様子観察1件